



けいちつ

啓蟄（5日）… 園庭ではどんな虫たちが目覚めるでしょうか…

この冬、雪はほとんど降りませんでした。わくわく池に氷が張ったのも2回程度でしたから、やはり暖冬だったのでしょうか。そのためか、カエルたちは啓蟄よりも半月以上早く池に姿を見せ、しばらくすると卵を産み、すでにそれもオタマジャクシになり始めています。

<啓蟄啓戸 すごもりむし とをひらく 3月5日~3月9日>

啓蟄の初候は「啓蟄啓戸」です。啓蟄と同じ意味で、土の中で冬眠していた虫たちが、春の訪れを感じて地中から這い出して来る頃です。

<新しい命が生まれています>

今年は2月中旬に、わくわく池にアズマヒキガエルが姿を見せ始めました。数日すると、池には卵がいっぱいになっていました。3月になると卵の様子が変わってきたことに気付いた子たちが、続々と様子を見にやって来ています。図鑑や映像ではなく、本物を見たり手で触ったりすることは幼児期にぜひ経験させたいことです。自然に対する豊かな感覚は、体で感じることでこそ育まれるからです。

<お互いを思う心が詰まったすてきなパーティー>

年中組が中心になって、年長組を招いてお別れパーティー（2部制）を開きました。年少組も一緒に遊戯室を飾り付けました。招待状を持ってうれしそうな年長児を年中児がエスコートして遊戯室へご案内。司会は、誕生会で教えてもらった年中児がばっちりと務めました。プレゼント交換や歌のみのシンプルな会でしたが、プレゼントをもらった年長児のうれしそうな顔といったらありませんでした。「ありがとう！」と年長児がうれしそうに帰っていく姿を見送る際には、企画から会場の準備や司会までやり遂げた年中児が、大きな自信を付けた表情だったのが印象的でした。こうやって「相手を思いやる心」が繋がっていくことをうれしく思います。



カエルの卵の様子が変わり始めました



オタマジャクシになったって、ホントかな？



子ども版「春のニュース」壁新聞！



年中児からもらった招待状を持って



お別れ会の司会は、もちろん年中児



年中児からのプレゼントはキーホルダー



年少児からはかわいいネックレス



年長児からの記念品は木のプレート



パーティー楽しかったよ、ありがとう！